

令和6年度第1回上下水道経営審議会 会議録

○日 時 令和6年6月7日（金）午前10時から11時まで

○場 所 深川市健康福祉センター「デ・アイ」 1階会議室

○出席者 坪田 邦光 委員（深川商工会議所）＜会 長＞  
大久保 浩隆 委員（きたそらち農協）＜副会長＞  
岩倉 恭子 委員（深川地区町内会連合会）  
北村 幸吉 委員（深川地区町内会連合会）  
飯島 町子 委員（一已地区町内会連合会）  
茶畑 誠一 委員（一已地区町内会連合会）  
平澤 利幸 委員（納内地区町内会連合会）  
水野 寛 委員（音江地区町内会連合会）  
清水 正勝 委員（多度志地区町内会連合会）  
村澤 紀恵 委員（きたそらち農協）  
浜渕 久子 委員（深川消費者協会）

深川市長 田中 昌幸

○事務局 建設水道部長 藤井 紀久也  
上下水道課長 美口 英憲  
上下水道課主幹 安井 仁  
庶務係長 大野 竜次  
庶務係主査 竹ヶ原 知美  
庶務係 小田 幸恵  
業務係長 小林 慎治  
工務係長 加藤 智幸

○会議内容 報告第1号 下水道事業の現状と課題  
報告第2号 今後の日程について

|   |      |                                                                                                                                                                                                 |
|---|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 開会   | 「令和6年度第1回上下水道経営審議会」開会                                                                                                                                                                           |
|   | *    | 事務局より、委員12名のうち出席11名で過半数に達したため審議会が成立している旨報告                                                                                                                                                      |
| 2 | 会長挨拶 | 坪田会長より挨拶                                                                                                                                                                                        |
| 3 | 市長挨拶 | 田中市長より挨拶                                                                                                                                                                                        |
| 4 | 議事   | <p>【報告事項】</p> <p>(1) 下水道事業の現状と課題</p>                                                                                                                                                            |
|   | *    | 事務局より、資料1「下水道事業の現状」及び資料2「下水道事業の課題」に沿って説明                                                                                                                                                        |
|   |      | <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p>資料1「下水道事業の現状」について</p>                                                                                                                                                    |
|   | 委 員  | 資料2ページ、下水道の役割で雨水の排除とありますが、雨水管の清掃はどのようなかたちでされているのですか。大雨の時など、土砂が溜まって排水が不安な箇所があります。昔、大きい車でマンホールに機械を入れて吸い上げていたのを見たことがあります。事業の中でどのように対応しているのですか。                                                     |
|   | 事務局  | 下水道事業では、大口径管という大きい雨水管を設置していますので、計画的な清掃はしておりません。家の前や道路に設置している雨水枡については、主に道路事業として都市建設課で清掃の対応をしています。数も多く毎年清掃は難しいため、気がついた時は都市建設課維持管理係にご連絡ください。                                                       |
|   | 委 員  | 下水道管について、耐用年数があると思いますが、中を見ることができない管の老朽化についてどのように対応していますか。                                                                                                                                       |
|   | 事務局  | 下水道管は一般的に塩ビ管やコンクリート管を設置しておりますので、耐用年数は50年ほどで、耐用年数が過ぎたらすぐにダメになってしまうわけではなく、超過している管も数パーセントほどです。現状は、カメラを入れて管内に破損がないか調査をしています。調査の結果により、管の更新を行っています。深川浄化センターの供用開始が昭和54年ですので、そこから考えても50年経っている管は多くありません。 |
|   | 委 員  | 下水道事業がR5年度から公営企業会計に移行しましたが、具体的にどの                                                                                                                                                               |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <p>ようなことが変わったのですか。</p> <p>企業会計へ移行したことにより、固定資産の洗い出しや再評価を行ったことで、事業着手から整備してきた資産の現状が数値として明確化されました。また損益取引と資本取引に区分して経理することで、その分析を通じて将来の経営計画が策定できる利点があります。さらに、すべての資産、資本及び負債の増減を一定の評価基準に従って整理するので、老朽化対策や更新時期を見極める1つの目安が出来たことが大きく変わった点となります。</p>                                                                                |
| 委 員 | <p>汚水処理人口普及率が100%にならない理由は为什么呢。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 事務局 | <p>一般家庭の未接続の主な理由としては、特に高齢者世帯に多いのですが、宅内排水設備工事には費用がかかることから、資金的な問題があることで断念するケースや、後々、居住される方がいなくなり、空き家となった場合、家屋設備に費用を投じることが困難であるなどが原因として挙げられます。</p>                                                                                                                                                                         |
| 委 員 | <p><u>資料2「下水道事業の課題」について</u></p> <p>資料2ページ、処理人口推移について、今後人口が減っていく見込みとなっていますが、人口の減少によって、下水道使用料と市の負担も変わってくると思いますがどうでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                              |
| 事務局 | <p>人口減少の問題は深川市に限ったことではなく、全国的な問題となっております。それに伴って下水道使用料も水道料金についても同じことが言え、他の市や町の状況を調べたなかでは、最近値上がり傾向にあるというニュースはよく聞くところです。水道にしても下水道にしても、最低限かかってしまう固定経費はあり、そこの部分は変わりませんが、使用者の減少によって収入が減るという状況です。あと先ほど、管について今は耐用年数がそれほど経っていないとの説明をしましたが、今後50年を超えてくる管が増えてくると、その更新費用の貯えも必要となってきます。人口減少は社会的な問題でもありますし、上下水道についてもかなり問題があるところです。</p> |
| 委 員 | <p>資料3ページ、有収水量の推移と今後の見通しについて、平成30年度以降、水量が減少していますが、主な原因はなんですか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 事務局 | <p>一番の要因は、人口減少に伴い、下水道利用者の人口も減少していることが挙げられます。また、近年は節水タイプのものが販売されており、これも水量の減少に拍車をかけていると考えられます。</p>                                                                                                                                                                                                                       |

委 員 資料 8 ページ、維持管理費の増加について、この財政シミュレーションはどのような方法を基に算定したのですか。

事務局 収益的収支の主なものについて、料金収入は、決算見込に市の人口ビジョンの減少率を乗じて計算したものです。他会計負担金補助金は、地方公営企業繰出金の通知に基づいて計算しております。長期前受金戻入は、公営企業法の適用に伴い算出したもので、これまでの建設改良のための国庫補助金等を洗い出し、償却率を乗じたものとなっております。

維持管理費は、実績を基に、物価上昇や人件費上昇分を見込んでおります。減価償却費は、公営企業法の適用に伴い算出したもので、固定資産を洗い出し、資産ごとに償却率を乗じたものとなっております。

資本的収支の主なものについて、企業債及び国庫補助金は、各計画の事業費等を基に計算しております。出資金は、地方公営企業繰出金の通知に基づいて計算しております。その他には、北海道の無電柱化事業に伴う工事負担金を見込んでおります。

建設改良費は、各計画の事業費等を基に計算し、企業債償還金は、償還予定額を計上しております。

\* 事務局より、今回の審議会と同内容で、市議会議員との所管事務調査があった旨の報告

(2) 今後の日程について

\* 事務局より、今後の経営審議会の開催予定等の報告

6 閉会

「令和 6 年度第 1 回上下水道経営審議会」閉会